

# ホームページ・リボーン

<http://www.go-karasu.com/>



第7巻第2号  
通巻第74号



発行所 東京都杉並区成田東4丁目3番44号 〒166-0015からす新聞本社  
からすホームページ <http://www.go-karasu.com/>

投書・お問い合わせのE-mail : [colors@go-karasu.com](mailto:colors@go-karasu.com)

なぜ、私は落語家にならなかつたのだろう  
か、と後悔頻りの昨今。圓生の後を継ぐのはあ  
たしかなないじゃありませんか。いやいや、そ  
れどころか、あたしはその為に生まれてきたよ  
うなもんだ、と……全く以て馬鹿である。やっ  
ていないからこそ、こんなことを軽々しく口に  
できるわけで、実際に落語を生業となさってい  
る師匠の皆さんからは、そんなに楽な商売じゃ  
ありませんよ、おやりにならなくてよござん  
した、などと言われそうである。言われてみれ  
ばそうかもしれない。よくよく考えてみれば、  
私は落語の世界に憧れているだけであり、だと  
すると、寧ろ、落語家よりもその登場人物にな  
る方がよい。ばかだね、あいつあ、なんて言わ  
れたりして……そう言っている方もかなりばか  
だつたりして……それでも、面倒見の良い女房  
や近所の御隠居が登場して、説教に塗すとはい  
え、最終的には何とかしてくれるのが、あの世  
界の良いところ。てやんでえ、此方人等江戸っ  
子だ、宵越しの金なんざ持てないね、てな具  
合。筋も理もない台詞を吐いては否太郎、今日  
も御機嫌、明日も御機嫌、はは、暢気だね。  
何とも羨ましい生活ではないか。それがどう  
だ、この世界は。何をするにも金、金、金、  
金。まあ、四回も並べて書くほどではないかも  
しれないが、兎にも角にも、生きていくにはお

金が必要なのである。本来は人間にとって都合の  
良いものとして考え出されたシステムであるはず  
なのに、気がついてみれば、世の多くの人々が貨  
幣制度に縛られている現実。どうだい、熊さん、  
人間てえやつはほとほとばかだね、呆れちまいま  
すよ。一度、国民投票で本当に貨幣制度が必要か  
否か、決してみてもらいたい、なんてことを思っ  
ているのは私だけだろうか。まあ、政治家連中は  
挙つて裕福なのだからして、貨幣制度を疑ふこと  
なんざあるわけがなく、従つて、国民投票は、と  
てもじゃないが、実現するはずもなく。

貨幣制度だの私の貧乏だのということは扱置  
くとして、落語的世界で生活するとなるとどうなる  
だろう。朝はゆっくり起き出して、上品に、お  
うっ、一本つけてくんな、と、まあ、朝酒なんか  
をやるわけだ。温燗を舐めながら、ああでもない  
こつでもない、と戯けた夢想に耽つたりして。氣  
の利いた着の二つ三つもないものかね、などと  
ぶつかさ咬いたりして。すると、そのうち、おま  
えさん、警沢は働いてからにしておくれ、てな具  
合に風向きが怪しくなってくる。ああ、桑原桑  
原、相手なんかしてられねえやつてんで、手拭い  
一本下げて、ぶらりと湯屋へ。近所の建築事務所  
のおねえちゃんを冷やかしたりしながらだらだら  
歩いていると、税務署の手前の角で女術の晴坊に

(最終面に続く)

## 今日の紙面から

- 二・三(面) 建築面  
旧前田侯爵邸洋館
- 四・五(面) からすライブラリー  
アート「唐招提寺展」
- 本 『号泣する準備はできていた』
- 映画 『女はみんな生きていた』
- 六(面) (ロンドンレポート)  
いただきます
- 七(面) 語面  
リアクション



からす新聞は××××

が母体となつて、世界に文  
化と芸術を発信すべく発行  
しています。

誰でも自由に参加できま  
す(無茶じゃない範囲で)。

## 旧前田侯爵邸洋館 (昭和5年建築)

現駒場公園内 併設して日本近代文学館があります。  
京王井の頭線駒場東大前下車徒歩10分。

繊細なステンドグラスや窓のフレーム模様、シンプルな  
シャンデリアや暖炉など、建築の部分部分に、華やか  
だったであろうその時代の雰囲気がやどっている。  
見学自由。



人は誰もどこか変身願望を持ち、それを楽しむ生物なのかもしれない。日常生活とは少し異なる空間と時間を。

襟足えりあしを見せる髪型に整え、足袋たびを履き、長襦袢ながじゆばんをまとう。伊達締だてじめをきりりと締める頃からだんだんと身のこなしも呼吸も違ってくる。着物を羽織り、帯を1回2回と締め身体が直線的になってくると、変身も最終段階。一度着物を着てしまうと、歩幅もしぐさも、曲線的に、不思議としなやかになってくる。

今日はお茶会。日頃は月に1回の緩いお稽古をしている私たちも、客人の前で点前を披露するこの日ばかりは真剣になる、「発表会」。

障子をくぐった優しい明かりと、すきま風が自由に吹く中、暖は湯を沸かす釜のみの小さな茶室では、外とは違う時間と音が凝縮され、五感をフル活用して楽しんでいただくために様々な席主の心づくしがされている。ほどよい緊張感の中、ほんのわずかな量のお茶も、とてつもない広がりをもった味となる。(らしい。)

「間」を慈しむ日本人ならではの茶道の教えかじることで、日頃、収縮しがちな心に新鮮な空間を注入することができたらとは思いつつも、「発表会」後はまたぞや緩いお稽古に戻って、変身も瞬間解凍してしまうのではあるが。

数日前の雪が残る茶室の庭の、ほんのりと春の黄色を帯びた梅の木に、鶯うぐいすが一瞬姿を見せたのが、ふいをつかれたようで心に残った。自然の演出は、人の「間」を超えるものだ。



## 号泣する準備はできていた

江國香織

ISBN: 4103808063


 Books

この作家は短編小説ばかりを書く。しかも恋愛ものばかり。決して特別でないどこにもある風景を切り取り、私を幸福にさせたり、切なくさせたりする。何度も同じような主題でそしてどこにもでもありそうな風景で、描かれているのだが、何故か私は読んで飽きないようだ。

「号泣する準備はできていた」は、男と女の物悲しさを秘めた12の物語で編まれている。恥ずかしさを承知の上で白状するが、それらに出てくる男女の少しづつ崩壊していく心の模様はどれも愛おしく美しいものに見える。決して真似したいと思うわけではないが、その心境に近づきたいと思ってしまう。泥沼恋愛願望が私の心の底で眠っているのだろうか。

この作品も短編集ばかりなので、ついスラッと読めてしまう。そして日常の風景が魅力的に感じられるようになってくる。彼女の世界に浸りたいなら、おすすめの一冊である。

(高橋)



## 女はみんな生きている (Chaos)

2003年公開 (フランス)

DVD: ACBF-10212 (アスミック)

監督: コリーヌ・セロー

出演: カトリーヌ・フロ、ヴァンサン・ランドン、ラシダ・ブラクニ、リーヌ・ルノー、オレリアン・ウィイク

 Films

今、振り返れば、当たり前の道筋が一直線にあるだけだ。なのに、あちらこちらに思いが飛ばされ、紆余曲折を繰り返し、やっとゴールに辿り着いたような印象が残る。織り交ぜられたエピソードが気が利いているせいだな。

スピード感もあるし、見終わった後の清涼感もある。笑いもスリルもあるし、社会や家族というシステムに対する批評や諷刺の視線もある。

忘れちゃいけないのが脇を固める連中の面構え。これが良い。実に良い。年輪を刻み込み、遠くを見つめる母親の表情。悪党バリの狡猾さと猜疑心に満ちた顔。さらには、そのバリの手下ども。ばか息子の恋人たちもいかしてる。フロランスの白痴美の手前のきれいな顔とシャルロットのの小憎らしい小でぶ面。 などなどなど、当然、忘れられそうにない。

ここ七、八年、笑いの衣装を纏ったノワールには良い作品が多いね。

(全太)





 Arts



唐招提寺展

二〇〇五年、一月二日(水)～三月六日(日)

中宮寺国宝菩薩半跏像

三月八日(火)～四月一七日(日)

東京国立博物館

中一のとくに法隆寺の九面観音像を見たときから仏像が好きである。国立博物館には三年ほど前、興福寺の仏頭を拝みに行ったきりだったが、今回、鑑真和尚が来るといっているのでありもしない万難を排して出掛けた。鑑真は実在の人物だから仏像ではなのだが、私にとっては中学生以来の憧れ。毎年六月に一週間しか開帳しないため、どうしても見られずにいたのだ。

解釈する者もしない者も、駆け足のおばちゃんも隠れてスケッチする画学生も勝手になさい。そういう佇まいであった。と、後になつて考えたが、自分自身は立ち尽くすでもなく、ただうろろしながら降りかかる雑念と格闘してただけかな。からすライブラリになんて書くこうか、とか。

正式には『鑑真和上座像』。日本最古の肖像彫刻。用いられた技法は、奈良時代流行の脱活乾漆造り。阿修羅像などと同じで、像の形に応じて心木を組み、土をかぶせて塑形した上に麻布を漆で貼り重ねて像を形作り、最後に中の土を取り出す。へえ、張りぼてだったのか。

次はさらに有名な弥勒菩薩です。「神秘のほほえみ」です。

(望月)

# London Report

食欲はもっとも基本的な欲求の一つだし、それが充実しているというのは凄く重要なことなのだろつ。考えてみれば、人間は食べなければ死んでしまう訳で、例えば何かを考えたり、身体を動かしたり、誰かを好きになつたり、友達と遊んだりとか

近ごろ、御飯が美味しい。

あって大変だけれども、楽しい。そんな健康的というのか、規則正しい生活を送っている内に、ふと気が付いたことがある。

とりわけ締め切りなどに追われてる訳ではないのですが、自分が卒業制作にやりたいことと今後のスケジュールを考えると、どうしても忙しくなってしまう。与えられた授業や課題をこなすのではなく、自分のプロジェクトを進めて行く。これが馬が合う理由なのか。やることは沢山

今まで散々、怠け者だとかぐうたらだとか言われ続けてきたけど、最近はずよつと違う。なんだか凄く学校が忙しい。きちんと朝起きたりしている。白い息を吐きながら、バスを待ち、一時間バスに揺られて学校へ。まだクラスメートも一人か二人しか来ていなく静かな教室で、学校の側のサンドイッチ屋で買ったコーヒを飲みながら、一息つく。そんな風にして始まる一日は気分がいい。先生やスタッフに「おあ、あさどが午前中からいるなんて!」と、かからかわれたりするのを楽しんかったり。

いただきます

いった、我々がする全ての行動は食べ物から得るエネルギーで行っているはずなのだ。食べなければ、身体を動かすエネルギーが無くなり死んでしまい、果てにはその身体までも腐り、土に帰って行く訳である。それじゃあ、僕たちは骨だったのか?「死んだ暁には恥ずかしいくない調体になりたいんだ」と言つたのは誰だったか。いや、その骨さえも最終的には土に帰るのだから。動かなくなる事によって、僕たちが食べ物を食べる事はなくなり、食べなくなる事により動かなくなつて、身体であつた肉や骨もやがて土に帰る。そんな風にして、また他の植物や動物の栄養となるのだ。死んだら僕たちは土となり、他の生き物の食べ物となり、生き物が僕たちの食べ物となる。そんな事を考えているうちに、僕は自分自身で食べた、食べ物その物でもあるのだと気が付いた。そう言えばこのピーマンや、今朝食べたソーセージが、さっき思いついたアイデアや今日書いたメールに変わっているのだからか。そんなことを考えると、ちょっと楽しくなってくる。「今日は納豆食つたから、もつちよつと頑張れるだろ」とか思つたりして。

卵とニワトリの様に、生活が充実しているから食事が美味しいのか、食事が美味しいから人生が楽しいのか、順序はよく分からないが、自分が元気がどうか判断する材料を一つ見つけた気がする。少なくとも、何でも美味しく食べる人は生きることに向きだ。

そんな訳で、今日も元気にいただきます。

ちなみにこの原稿は、晩飯に食つた鯖の塩焼き。

(神山)

## 新幹線で飛んでまいります

あなたの平穏な生活を脅かすストーカーを本場米国で培った最新の技術と装備を駆使して退治します。  
あなた一人で悩まないでください。

# ストーカー バスター

相談無料  
秘密厳守

防犯用品販売・  
防犯対策指導も  
致します。

produced by

P.D.Agency

tora@pda.co.jp

4-3-49-1, Suginami-ku,

Tokyo 166-0015, JAPAN

voice : +81-5347-9063

facsimile : +81-5347-9064

# リアクション

受験は終わった。うまくいった者もいれば、いかなかった者もいる。何と声を掛けてあげようか。(望月)

うまくいったら  
Way to go!  
やった!

思わず口をついで出るセリフ「やった!」  
Yes!

You did it!

Sounds great!

どれもいいけど、こんなものもある。

**Way to go!**

直訳すれば「進むべき道(がある)」。つまり、

You've got your way to go!

いろいろあったけどいま道が開けた、前途洋々だ、そんな気持ちがこもった言葉だ。

It's good to be true!  
夢みたい!

驚いた!とき。

Oh, my God!

「おお」

Unbelievable!

「信じられない」

You kidding!

「冗談でしょ!」

You can't be serious!

「ウソでしょ!」

などあるが、これらは敗者に対してもつい言っちゃいそう。ふつういいニュースのみに使うのは、

Incredible!

「信じられない!」

Amazing!

「オドロキ!」

こんなものもある。

**It's good to be true!**

「夢みたい!」

直訳は「うれしすぎて本当じゃないみたい」。たぶんみんな聴いたことのある『君の瞳に恋してる(Can't Take My Eyes Off of You)』の出だしはこうだった。

You're just too good to be true.

Can't take my eyes off of you

「君って本当じゃないくらいいい感じ  
目が離せないよ」

うまくいかなかったら

C'est la vie.

人生そんなもんよ

大学落ちたってそれですべてが終わりじゃない。人生いろいろある。

Life is like that.

「人生そんなもんだ」

これと同じ意味で

**C'est la vie.**

というのもある。フランス語だが、英語にそのまま輸入されて一般的に使われている。ただし、あんまり連発すると軽いので要注意かも。続けて

The best is yet to come.

「お楽しみはこれからだ」

とでも言ってあげよう。

Tomorrow is another day!

明日があるさ!

前向きなひと言。

Who knows tomorrow?

Nobody knows tomorrow.

これらは「明日のことなんてわかんないでしょ」。

**Tomorrow is another day!**

「明日があるさ!」直訳は「明日はまた別の一日」。映画『風と共に去りぬ』のエンディングを飾るセリフとしても有名だ。

参考

Tomorrow never knows.

「明日は決して知ったりしない」

これはビートルズ時代のジョン・レノンによる意味難解な造語だが、ミスチルは「明日はわからない」の意味で使った。

どっちにせよ

You deserve it.

報われたね

当然の報いだ

相応の努力をしていなければ、この結果も仕方ない。この「仕方がない」を英語にすると、

You deserve it.

直訳は「あなたはそれにふさわしい」。

deserve「~にふさわしい」は、結果次第でいい意味にも悪い意味にも使える。というわけで You deserve it! にふさわしい訳はポジティブ

「報われたね」「ご褒美だよ」「きみにはその資格がある」

ネガティブ

「当然の報いだ」「ざまあみろ」「自業自得だ」

などいろいろあるのであった。

(一面から続く)

ばったり出会う。おう、いいところへ来やがったな。どうだい、天抜きでもやっつけようぜ。向こうだって嫌いな口じゃないから、望むところよ。なんて、二人連れになる。ついででたんで、塾屋の望公も誘い合わせて、どうです、昼前から蕎麦屋できゅうとね。ああ、思っただけで、いい心持ちだよ。こうなるよ、もう、あとはするするだらだらと、あっちへふらふらこっちへふらふらと呑み歩き続け、どうにかこうにか長屋に戻れば、子の刻は儼に過ぎ、丑三つ時を少々越したところ。御天道様がもうその角まで来ているという頃合だ。おう、今、けえったぜ、なんて、威張っている場合じゃない。おまえさん、何時だと思ってるんだい、早く寝ておくれ、なんて、また小言ですよ。ああ、これだから、女てえやつは……なんて呟いているうちに、眠りに落ちた。

限りがないので、妄想はこれくらいにしておくけれど、落語の世界に飛び込んだら、私はこんな

毎日を送るのである。一見して、とても嬉しい。再思しても、何とも喜ばしいことではないか。三考して……三考して……三考したところで、気が変わった。これで、本当に幸せなのだろうか、と。プラトンやアリストテレスが幸福を云々していたのは、かれこれ二千数百年前。それからも数多の哲学者が思いを巡らしてきた問題である。それでも、結論は出ていないのだ。私如きが少々頭を捻ったところで何がわかるというのだろうか。何もわかるはずはない。けれども、一度そう考え始めてしまうと、もうあとには戻れないのが、因果な性分だ。幸せとは何か。独り朝酒を呑むのも幸せだし、馬鹿面並べてしだらなく呑んだくれるのも幸せである。その一方で、曲を書くのも幸せだし、演奏するのも幸せだ。文章を書くのも幸せだし、気の利いたものを読むのも幸せ。将又、カレーを作るのも幸せだし、それを喰うのだったって幸せなのだ。ううむ、こんな具合に思いつく幸せを大小取り混ぜつらつらと並べてみたところ

で、そこから共通する何かを導き出せそうにはない。確かなことは、幸せとは何かと思ひ悩むようでは、落語の世界に満足できそうにない、ということだけだろう。

考えてみれば、落語的世界に飛び込まなくても、朝酒を呑むことも、蕎麦屋で一杯ひっかけながら与太を飛ばすことも、上さんに文句を言われることも、御隠居に説教されることも可能である。しかも、私が住んでいるところは長屋ときている。熊さん八つあんの生活と今の私の生活とは、然程懸け離れたものではないだろう。しかも、私は、幸せとは何か、と考え込んだりすることすらできるのだ。これは彼らにはできない芸当だ。そういう意味では、私の方が彼らより少しだけ自由なのだとさえ言えまいか。

ああ、こんなことを考えるのは、ちょっとした幸せだね。

(全六)



万年筆なら dani

<http://danijapan.com/>

bar&kitchen kanna

お一人でも気軽に楽しめる、食事もできるShotBarです。ビール、パーボン、焼酎からカクテルまで、豊富なお酒と、季節の素材を取り入れた手作りのオリジナル料理を、4/500円~と手頃な料金でご提供いたします。

木とテラコッタを基調にしたギャラリー風の店内は舞台スタッフの手作り。ぬくもりの中に遊び心が溢れ、くつろげます。作品の展示、音楽、演劇等のイベントも企画スペースの提供も行っておりますので、興味のある方はご相談ください。各種パーティー、打ち上げにも最適です。



Ken-ichi Shinozaki,  
architect

Voice : +81-3-3220-0644  
Facsimile : +81-3-3220-0640;  
e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp  
篠崎健一アトリエ

編集後記  
からす新聞第七巻(二号)通巻第七十四号(無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発行予定日は二〇〇五年三月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

1クラス4人までの少人数制学習塾

**371**

中野区本町2-50-12 ドエル中野201号  
03-3379-1451

宝仙寺  
ファミマ  
おうめかいどう  
中野坂上駅

**371**